



公民館貫井北分館へようこそ!

●今月のテーマ「自立」●

「自立」とはいったいどういうことなのでしょう?
何でもいいので、教えて頂けると幸いです。」



先日、KITAMACHI ユースノート（公民館版）に記入された質問です。
“自立”について、若者コーナーやフリースペースをご利用の方々に聞いてみました。「私にとっての自立」、一緒に考えてみませんか？

自分の学校のモットーが“自主・自立”。中学校はともかく高校生はこれといった校則はないから「自立=自由」って思う。でも、その分先輩達（高校生）は課題とかちゃんとやってるから。課されたことを終えずに自分のやりたいことを行うのはただのわがまま野郎だと思う。もし、自分が“自立できてる”って思った時に、他の人がそれを認めてくれて賛成してくれれば、その人はきっと義務を果たしている人。義務を果たしていない人は大人、子どもにかかわらず自立できていないと自分は思う。

(10代 小佐野遊絵 女性)

「自立」とは基本的には自分のことを自分でできるようになることだと思います。ですが、まわりと関わりをもたないということとは、また違うのかなとも思うので、よく分からないです。まわりに頼りすぎることはせず、良い関係を保ってゆける人が自立した大人だと思います。

(高校1年生 T.K. 女性)

誰かに言われてから行動するのではなく、自分から考えて行動できるようにすること。また、誰かから与えられるだけでなく、自分から発信していけるようにすること。たとえば、部活で先輩から言われるのを待つだけでなく、自分で考えて次に何をしたら良いのか考える。また、練習でのポイントを先輩から言ってもらっただけでなく、自分たち同士でも言い合えるようにする、など。

(高校1年生 M.T. 女性)

身の回りには自分を支えてくれるものがいっぱいあります。自転車のタイヤはゴムの会社がなければ自転車はなくなってしまいます。いろんなものに支えられている状況では自立とは言えません。「自分で立つ」ということではなく、「自分が誰かを立たせてあげる」ことが自立の定義だと考えます。

(大学3年生 I.T. 男性)

私が初めて「自立」を意識したのは浪人の時期です。自立するにはどうすればいいかと考えたときに、一番早く結論が出たのが経済的な自立です。アルバイトや就職を経て、経済的な自立を（一応）果たした今、よくよく周りを見渡せば仕事やら目覚ましやら、自立できていないものばかり。それら全てから自立できるのはいつになるのやら。悩みながら、ひとつひとつ自立していくしかないもの。それが私にとっての「自立」です。

(20代 アラサーに一さん 男性)

親に頼らないで心配かけないでいるということは、大切なことですが、自立というと人生の目的、生きる目標を持つことではないでしょうか!!日本の社会の進展がめまぐるしく発展(?)していますが、自分は、どう生きるか、社会の構成員として、どういう風に貢献していくのか、じっくりとあせらないで自分の生きるべき道を決めましょう!!

(77歳の老人より)

報告

若者による自主講座

「きたまちリズムダンス」開催しました!

3月1日(日)午前10時~午後3時 北町ホール
5歳から88歳(なんとその差は83歳!)の男女15人が、オーシャンブルーさんの楽しい指導で、ファレル・ウィリアムズの軽快な「Happy」のリズムダンスを楽しみました!

「1日があっという間でした。異世代がいいですね~。公民館は、こうあるのがいい。すべて年代をはずしましょう!!」と参加者からコメントをいただきました♪



サークル紹介

演奏会企画団体 「ゆかたのひ」

「ゆかたのひ」は小金井在住の16歳女子二人組!♪
演奏者同士の縁・お客様と演奏者との縁を大事に、様々なジャンルの音楽がコラボできる練習をしています。貫井北センターまつりでは29日の午後2時から3時にオペラからジャズ、J-popまで幅広く揃えた生演奏をお届けします。

